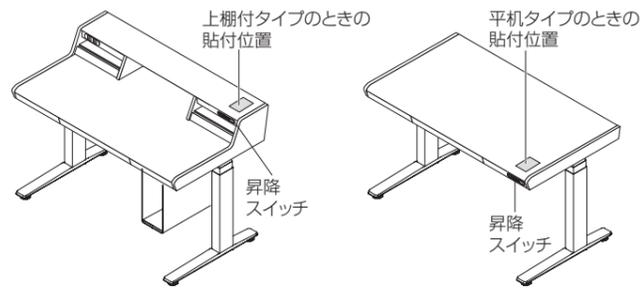
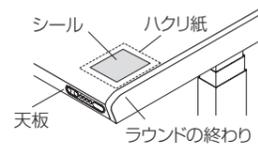


組立手順

手順に従って正しく組み立ててください。

11 使用方法シールの貼付

お客様への引き渡し前に必ず天板に貼付してください。
ハクリ紙を天板の端に合わせて位置を決め、反対側のハクリ紙をはがして貼りつけます。



●Swift home警告シール



12 外観と通電の確認

- ①製品に同梱されている『施工時チェックシート』に記載されている内容で製品の確認を記入してください。
- ②全ての確認項目が合格であれば、指定の位置に同梱されている『PSEシール』を貼付してください。

その他の電気機械器具付家具チェックシート Swift home

1.昇降装置の設定	
初期設定詳細は組立説明書をご参照下さい。	
2.外観、通電検査の確認	
外観 <input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> NG	
1.配線コードが絡まっていないか。	5.天板は斜めに傾いていないか。
2.配線コードに無理な屈曲がないか。	6.天板フレームと昇降装置を固定するネジに緩みがないか。
3.配線コードが無理に押えつけていないか。	7.下部アームと昇降装置を固定するネジに緩みがないか。
4.プラグ、コネクターが最後まで差し込まれているか。	
通電 <input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> NG	
1.昇降装置は正しく、滑らかに作動するか。	上棚付、平机共通 650H~1250H(標準設定)
2.昇降中に異音はないか。	※下降時は720Hで一時的停止。
3.焼けるような異臭はないか。	再度下降ボタンを押すと低速で650Hまで下がります。
4.設定どおりの動きをするか。	
3.定格銘板(PSEシール)の貼付け	
※上記確認項目が「OK」の場合、同封されているPSEシールを書き位置に貼りつけてください。	

P S E	定格電圧	100V
	定格消費電力	300W
	定格周波数	50/60Hz

okamura

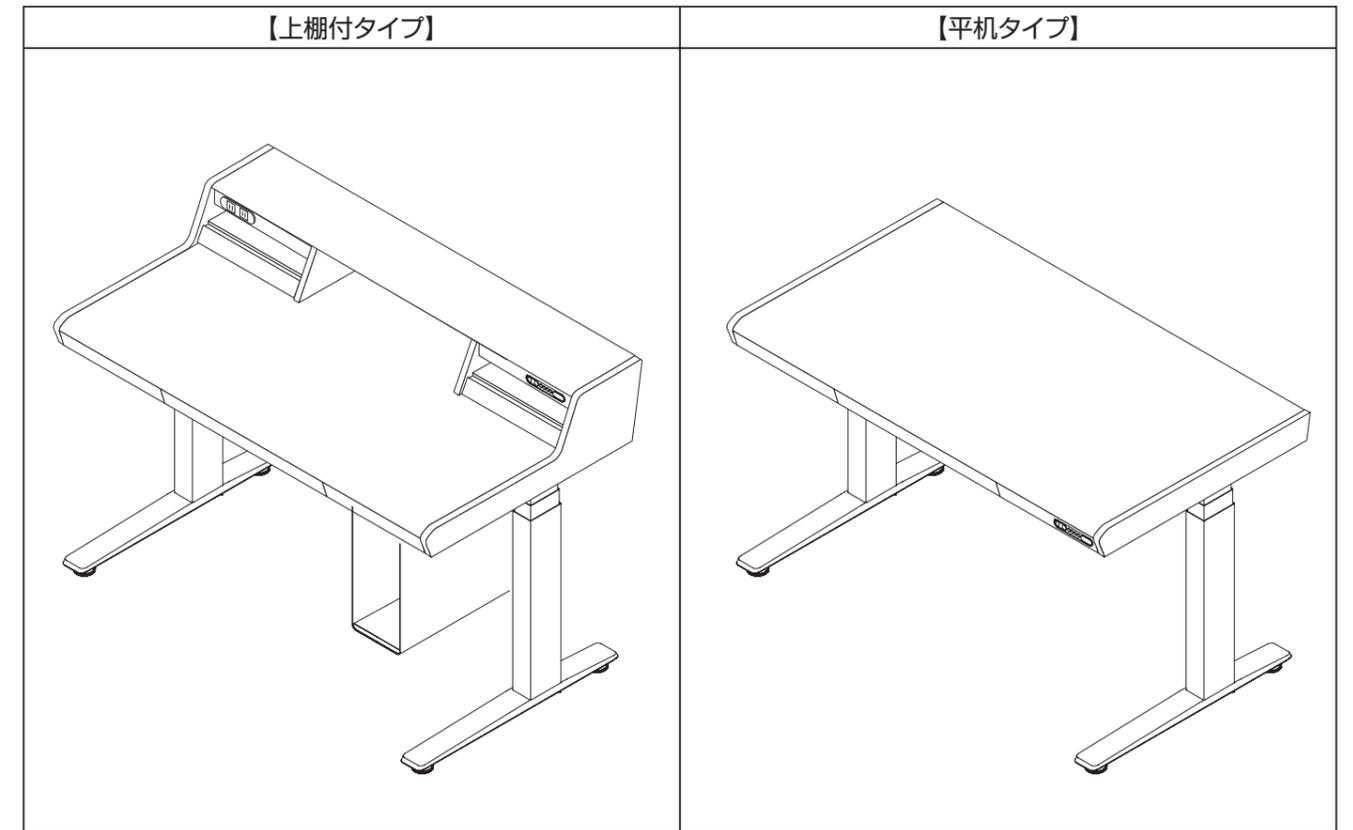
※上棚付き、平机共に上棚フレームのみぎから約200mm、下から約10mmの位置に貼付けて下さい。

上下昇降デスク *Swift home* スイフトホーム

組立説明書

本書は「スイフトホーム」の組立説明書です。
組立の際は必ずこの組立説明書をよくお読みになり、内容を十分に理解の上で正しく組立てください。

組立完成図



安全に組立いただくために(必ずお守りください)

⚠ 注意 この表示は、誤った取扱いをすると、傷害を負う可能性や、物的損害の発生が想定される内容を表しています。

⚠ 注意

- 組立の際は、十分な作業スペースを確保して行なってください。思わぬケガにつながる恐れがあります。
- 組立は、二人以上で行なってください。一人でやるとケガをする恐れがあります。
- 組立の際は、指定の工具を使用してください。不十分な締め付け等で、破損や転倒によるケガをする恐れがあります。
- 電動工具を使用する際は、手袋を外して行ってください。工具に巻き込まれてケガをする恐れがあります。
- 部品の端部や裏側、スキマには気を付けてください。ケガをする恐れがあります。

正しく組立いただくために

- 部品の点数をチェックしてください。
- 組立に使用する工具を準備してください。
- ネジは仮締めした後、本締めをしてください。
- ネジ頭はカジらないように注意してください。バリ等が発生し、ケガをする恐れがあります。
- 製品は大切にお取り扱いください。

使用工具



最後に...

組立て後に必ず点検し確認してください。

- ボルトに緩みがないか?
- 製品にキズ、汚れ、ガタツキ、不具合等がないか?
- 梱包材やゴミが落ちていないか?

okamura

株式会社オカムラ
横浜市西区北幸 1-4-1 天理ビル
http://okamura.co.jp

組立に関するお問い合わせは

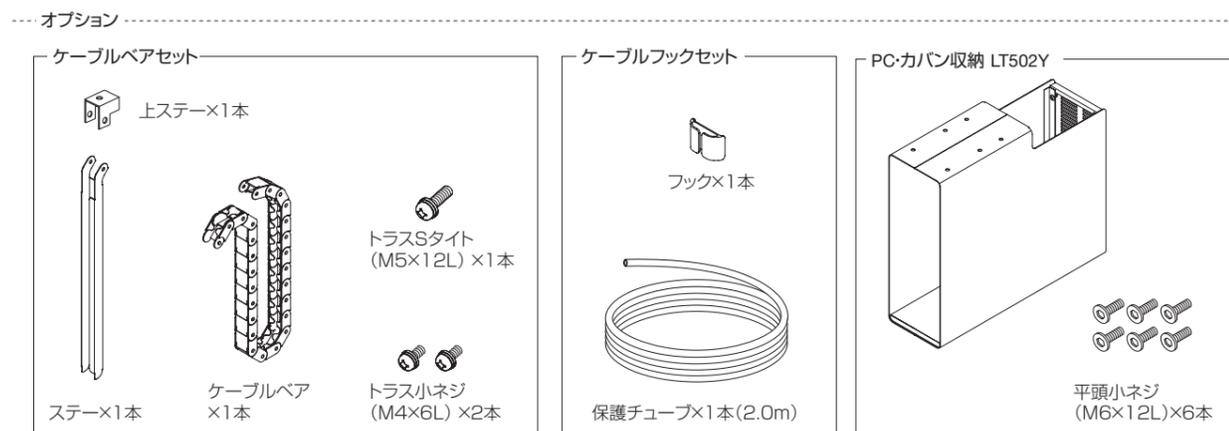
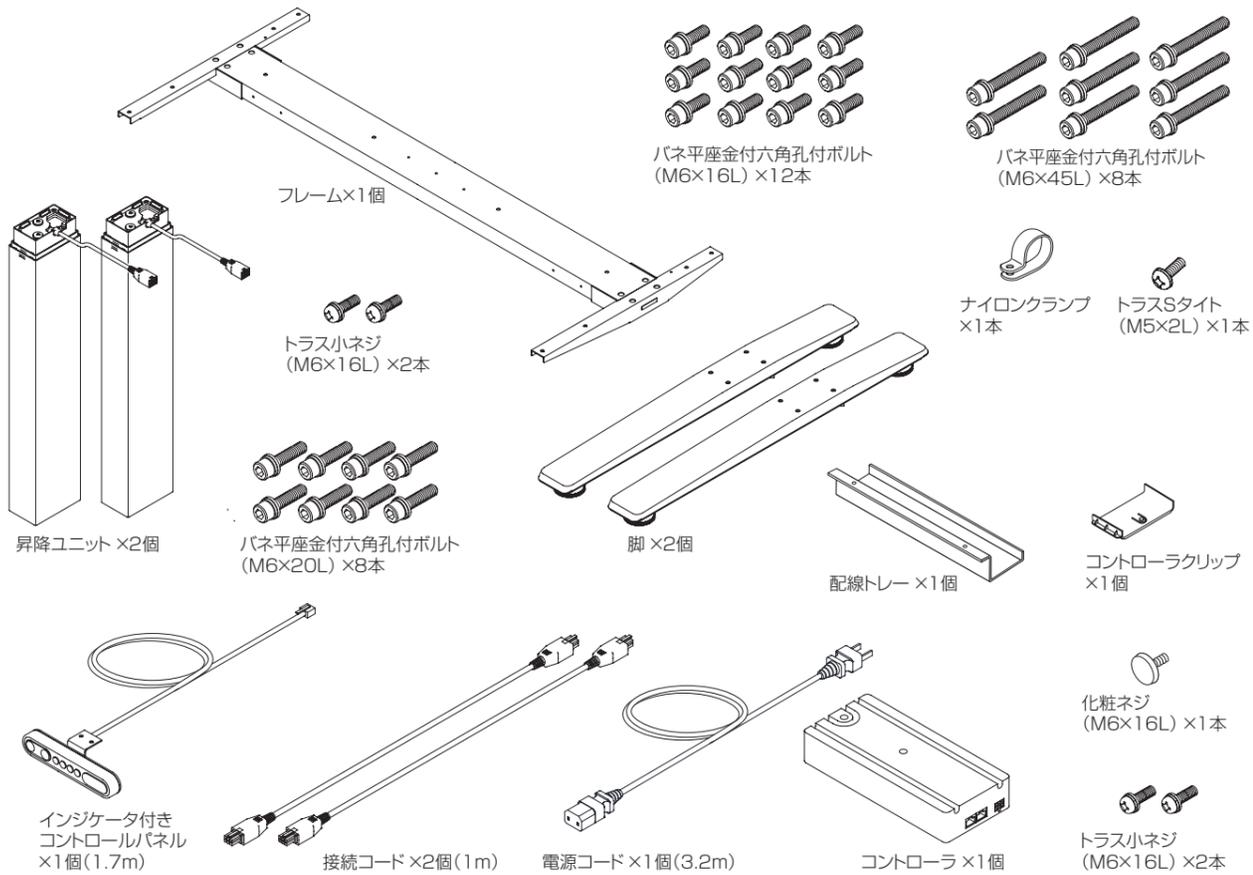
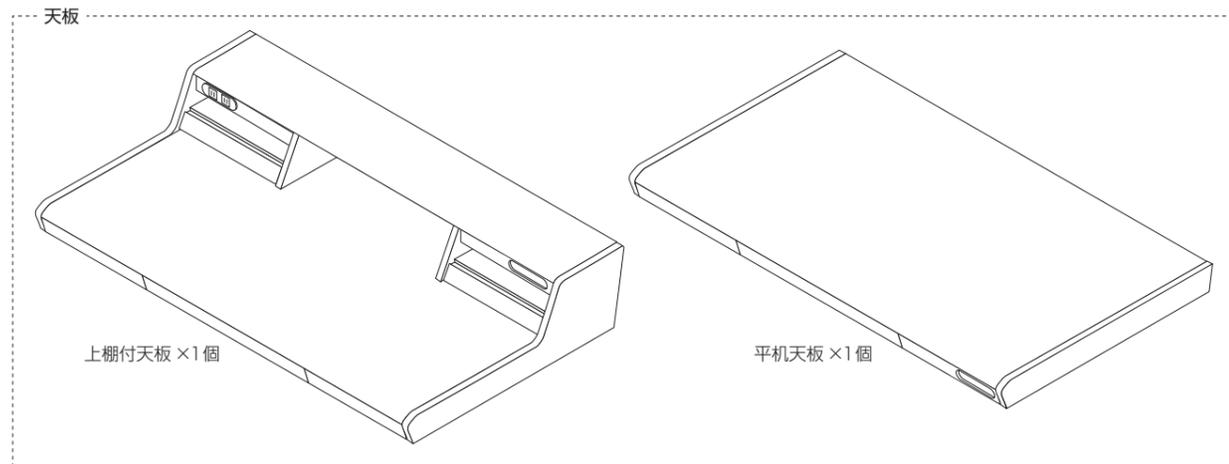
つくば事業所 品質保証担当

TEL: 029-847-0100

FAX: 029-847-0123

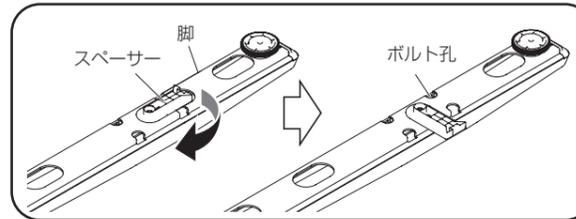
オフィス製品部 GD2740 2018-05

okamura

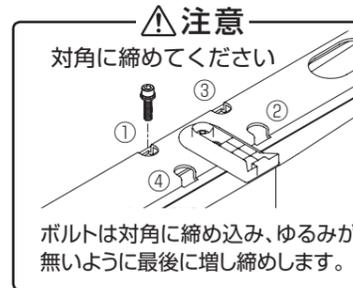
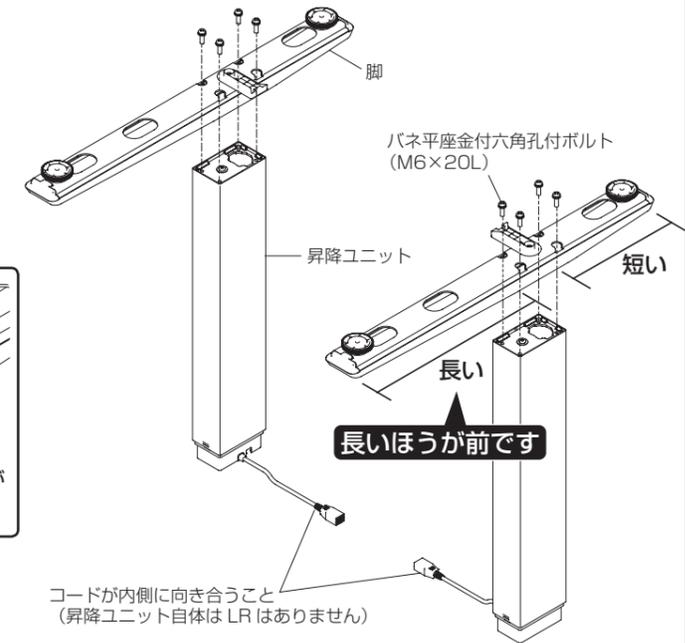


1 脚の組み立て

①脚の裏面にあるスペーサーを回して、ボルト孔を出してください。

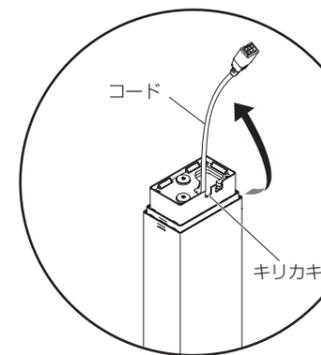


②バネ平座金付六角孔付ボルト(M6×20L)で、昇降ユニットに脚を取り付けます。(8ヶ所)
※コードが内側に向き合うように取り付けてください。

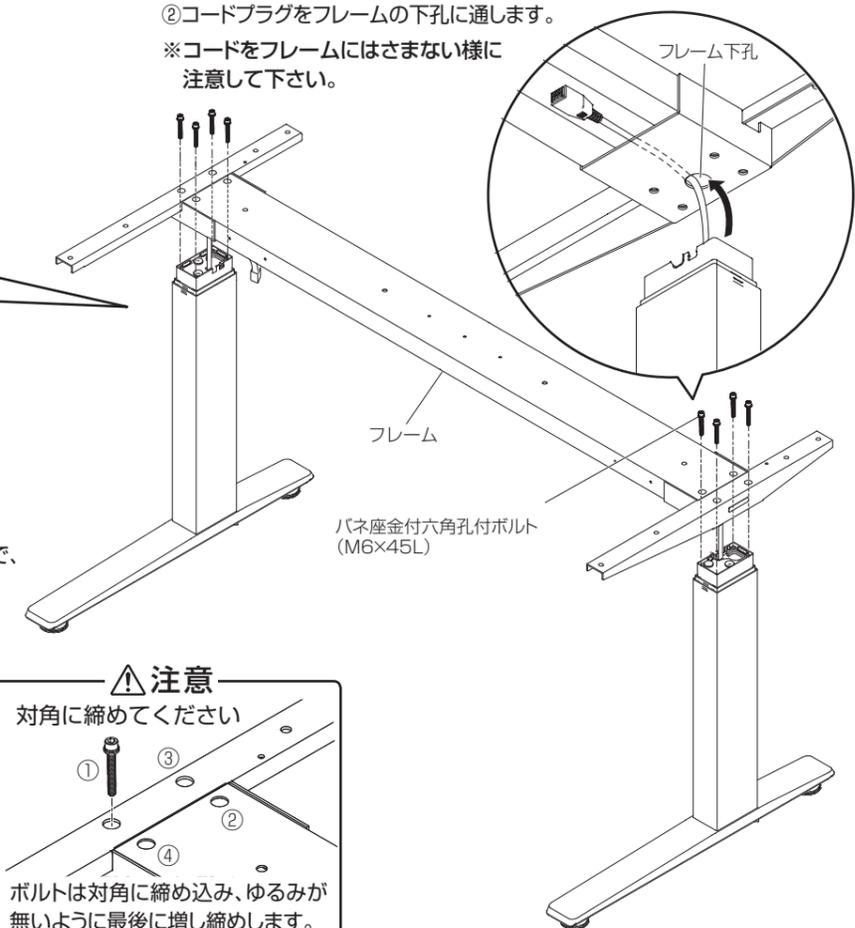


2 フレームの組み立て

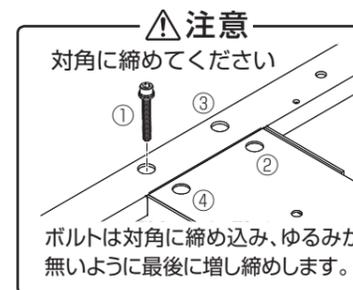
①組立てた脚を正立させて、キリカキからコードを外します。



②コードプラグをフレームの下孔に通します。
※コードをフレームにはさまない様に注意して下さい。

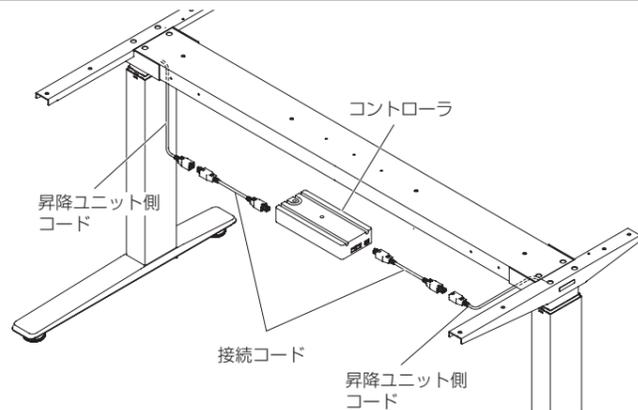


③バネ座金付六角孔付ボルト(M6×45L)で、昇降ユニットにフレームを取り付けます。(8ヶ所)

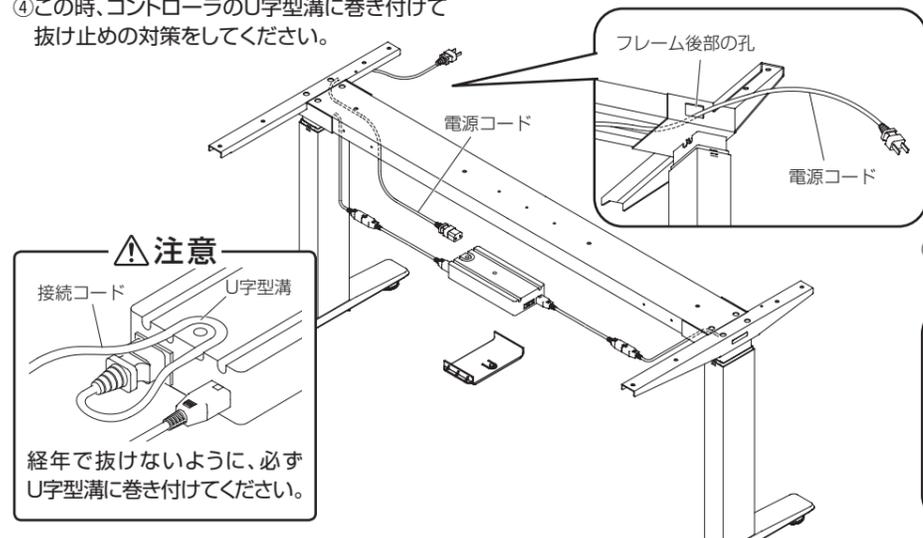


3 昇降脚ユニット式の配線

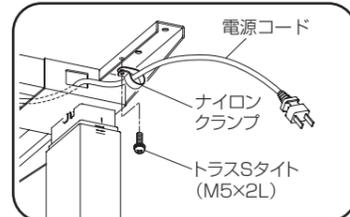
- ①昇降ユニット側のコードを、接続コードに接続してください。
- ②接続コードをコントローラに接続してください。



- ③電源コードをフレーム後部の孔に差し込みコントローラに差し込みます。
- ④この時、コントローラのU字型溝に巻き付けて抜け止めの対策をしてください。



- ⑤電源コードをナイロンクランプでフレームに固定してください。

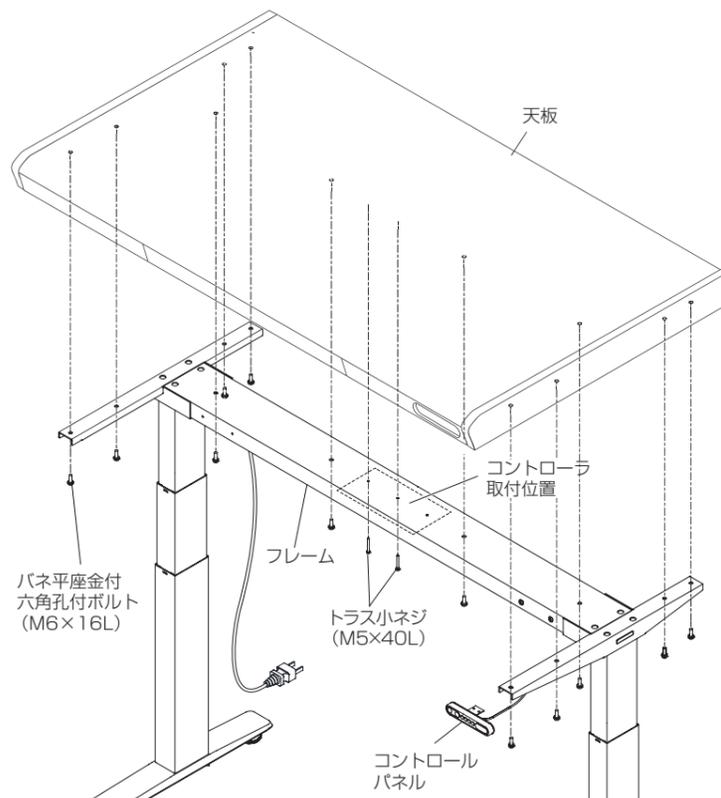
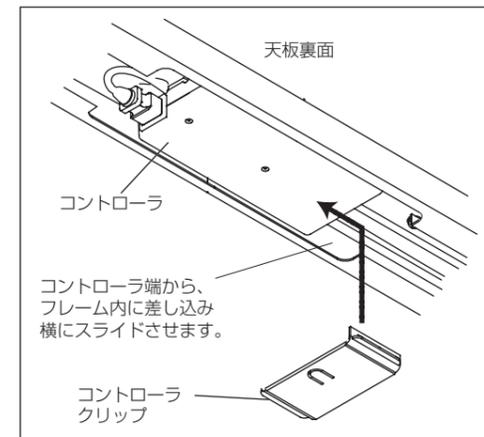


4 平机タイプの天板の固定

- ①バネ平座金付六角孔付ボルト(M6×16L)で、フレームに天板を取り付けます。(12ヶ所)

※コントロールパネルは天板を固定した後に取付けます。コントロールパネルの取付方法は、次頁の「**6** コントロールパネルの配線」をご参照ください。

- ②コントローラクリップでコントローラを取り付けます。

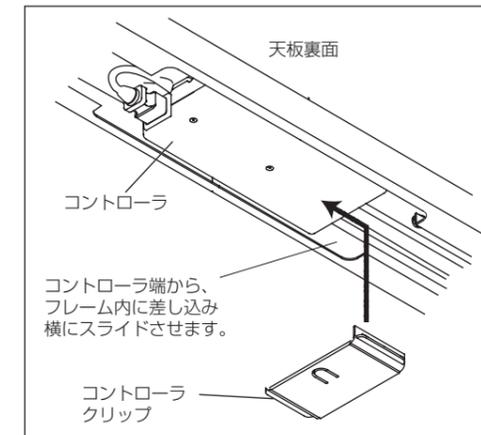


4 上棚付タイプの天板の固定

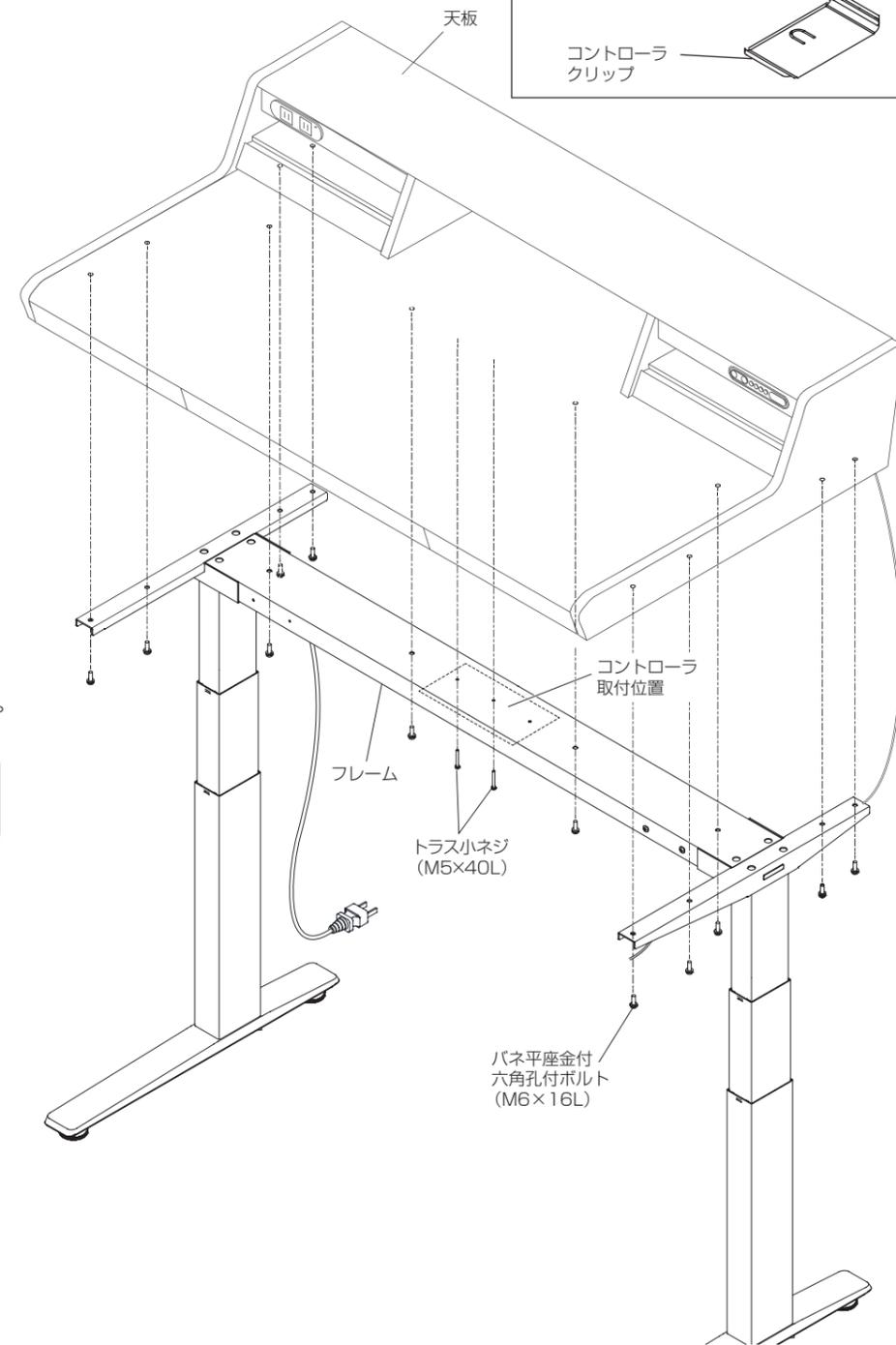
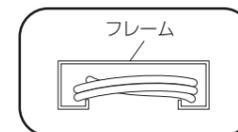
- ①バネ平座金付六角孔付ボルト(M6×16L)で、フレームに天板を取り付けます。(12ヶ所)

※コントロールパネルは天板を固定した後に取付けます。コントロールパネルの取付方法は、次頁の「**6** コントロールパネルの配線」をご参照ください。

- ②コントローラクリップでコントローラを取り付けます。

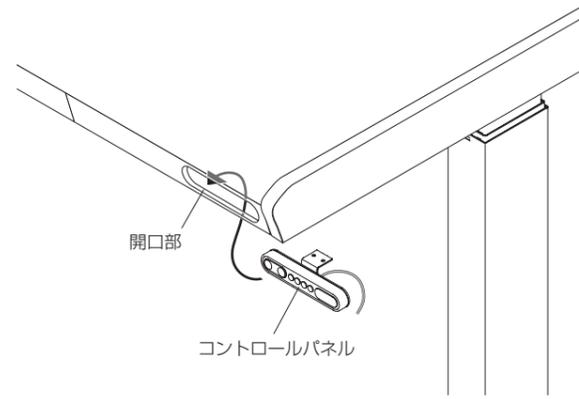


- ④コード類の余長はフレームの中に収納します。

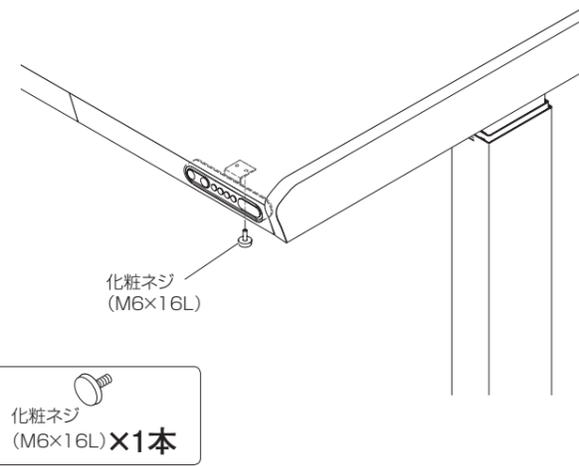


5 コントロールパネルの配線(平机の場合)

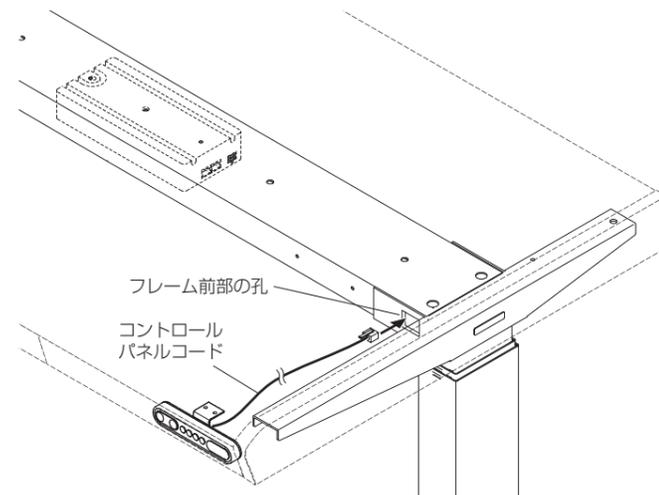
①コントロールパネルを内側から開口部にはめ込んで下さい。



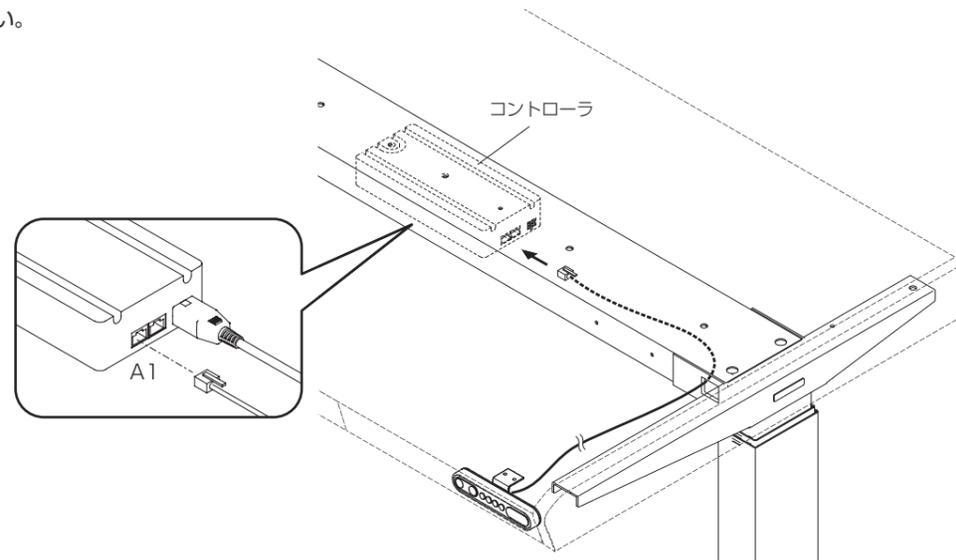
②コントロールパネルを化粧ネジ(M6×16L)にて固定して下さい。(1ヶ所)



③フレーム後部の穴に配線を通して下さい。

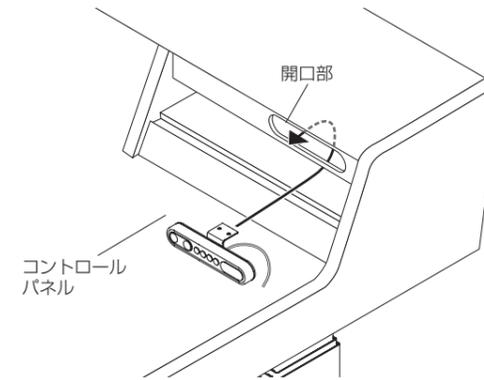


④コントローラに接続して下さい。

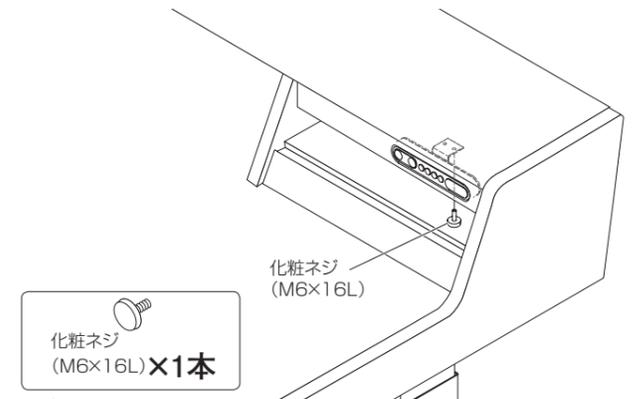


5 コントロールパネルの配線(上棚付の場合)

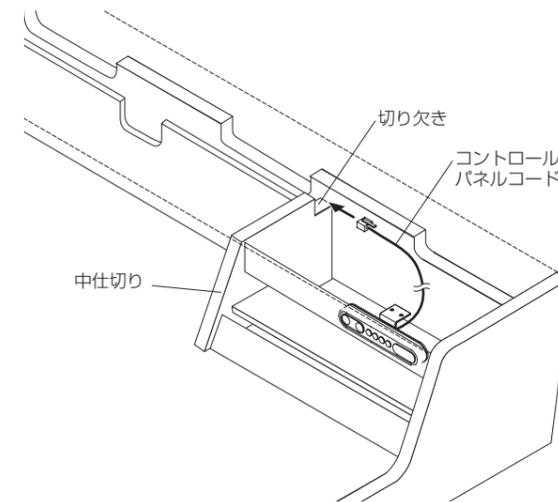
①コントロールパネルを内側から開口部にはめ込んで下さい。



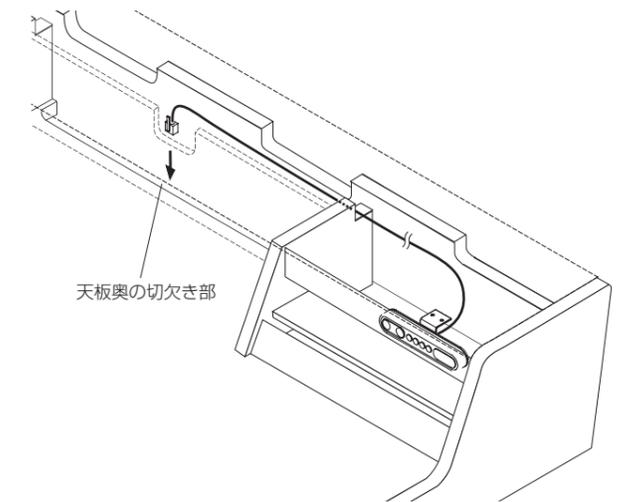
②コントロールパネルを化粧ネジ(M6×16L)にて固定して下さい。(1ヶ所)



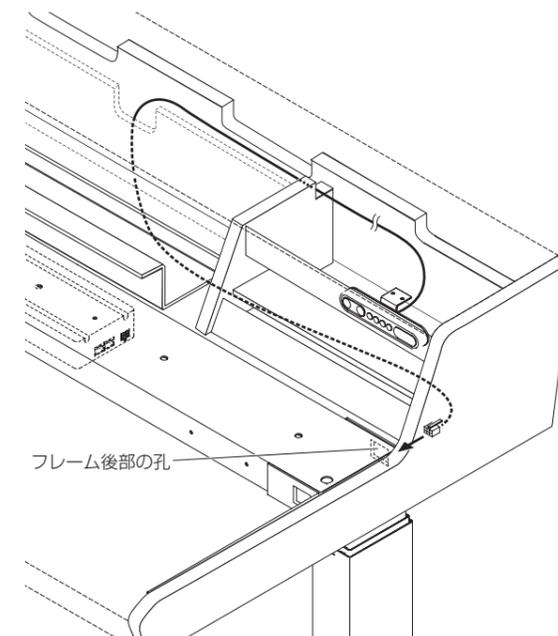
③中仕切り上奥の切欠き部に配線を通して下さい。



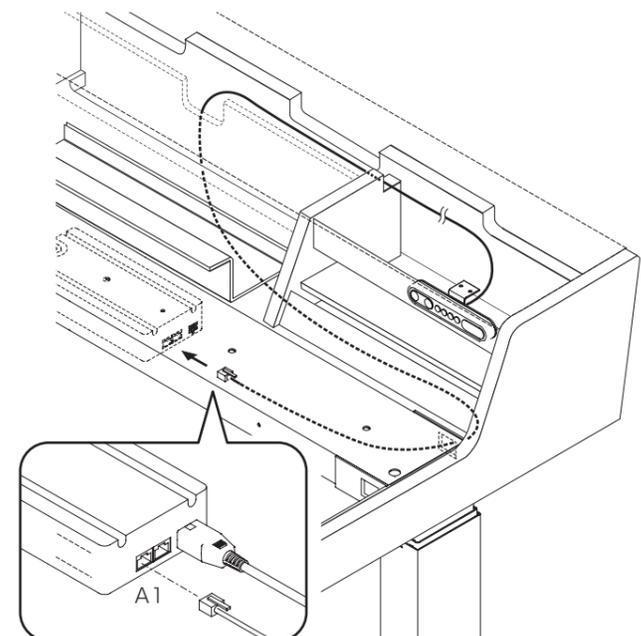
④天板奥の切欠き部に配線を通して下さい。



⑤フレーム後部の穴に配線を通して下さい。



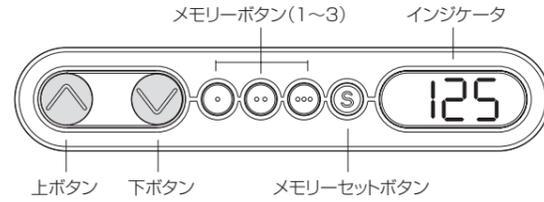
⑥コントローラに接続して下さい。



1. 動作のための初期設定方法

- 昇降脚ユニット一式を結線したあとは、下記要領にて必ず初期設定と動作確認を行ってください。
- 初期設定完了後は、上ボタン(▲) 下ボタン(▼) を押し続けている間は昇降し、離すと止まります。

- コントロールパネル (インジケータ付)



①プラグを電源につないで、昇降脚ユニットを作動できる環境にしてください。

②下ボタン(▼)を一度押します。

③再度下ボタン(▼)を長押し(10秒程度)してください。

④昇降ユニットが少し下がり、初期化が完了となります。

⑤上ボタン(▲)を押し続けて、最大高さまで動かします。

1250mm (最大高さ)

⑥下ボタン(▼)を押し続けて、自動的に止まるまで下げます。止まった高さが標準高さの720mmです。

720mm (標準高さ)

⑦もう一度下ボタン(▼)を押し、最下段まで下げます。(ゆっくり下がります)

650mm (最小高さ)

2. デスク高さ表示設定方法

- インジケータ付コントロールパネルは必ずデスク高さ表示を合わせてください。

①上ボタン(▲)を押し続けて、天板を最大高さまで上げた状態にして、インジケータ設定をおこないます。

※最大高さにすると1250mmあります。

最大高さまで上げた状態にする

②上ボタン(▲) 下ボタン(▼)を同時に約5秒押しすると、「---」が点灯した後、現在設定されているデスク高さが表示されます。

上下ボタンを同時に5秒長押しすると現在デスク高さが表示

③上ボタン(▲) 下ボタン(▼)を押して、インジケータの表示高さを125に合わせてください。

上下ボタン操作でインジケータの表示高さを125にする

- ④すべてのボタンを離して約5秒経つと、表示されている数値が点滅し、高さ設定が完了します。

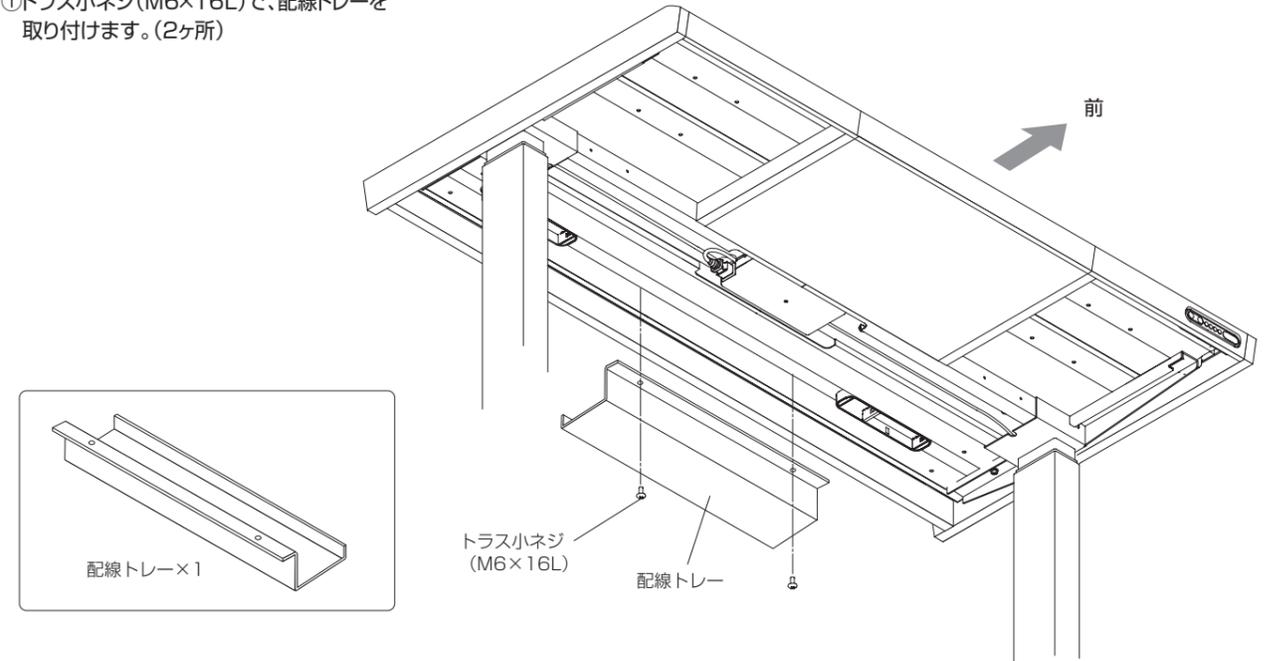
■エラーコード一覧

エラーコード	内容
E01	メモリー設定位置が不明のため、初期設定が必要です。
E02	上昇方向に過負荷がかかっています。
E03	下降方向に過負荷がかかっています。
E16	誤ったボタンが押されています。

※他のエラーコードが表示された場合は、担当窓口までお問い合わせください。

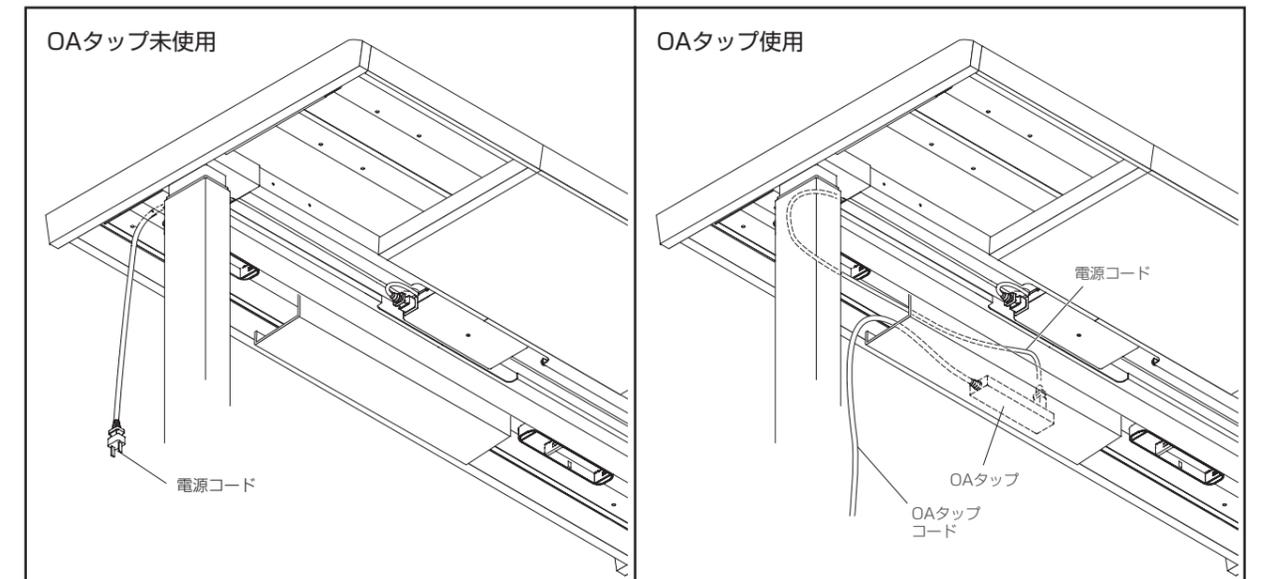
6 配線トレーの固定

- ①トラス小ネジ(M6×16L)で、配線トレーを取り付けます。(2ヶ所)



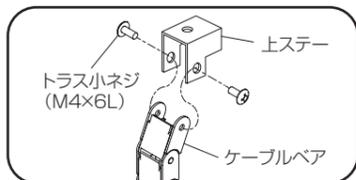
7 電源コードの配線位置

- OAタップは配線トレーに載せてください。
- ※天板を最大高さ(125cm)の状態で行ってください。
- ※最大高さにした時に、OAタップ、電源コードが少したるむ程度の余長を持たせてください。

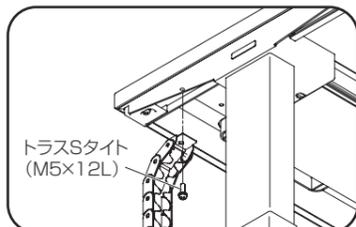


8 ケーブルベア(オプション)の取り付け

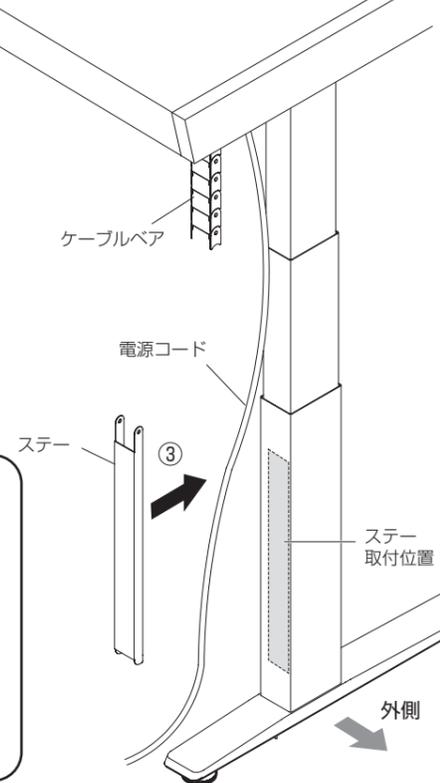
①付属のネジで上ステーをケーブルベアに取り付けます。



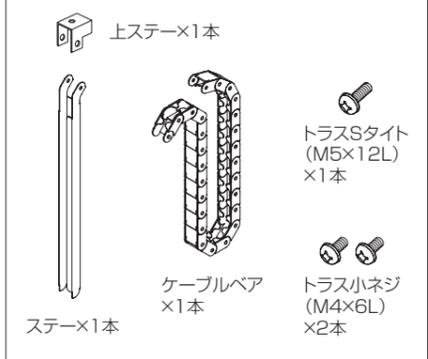
②付属の取付ネジで、ケーブルベアを天板裏のフレームに取り付けます。



注意
ケーブルベアの取付作業は、必ず天板を最上部まで上げてから行ってください。コード類の長さに少したるむ程度の余長がないと、スムーズな上下動が行えません。

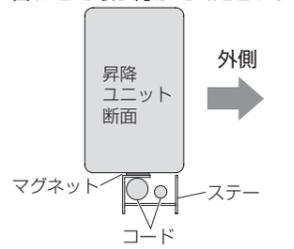


■ケーブルベアセット



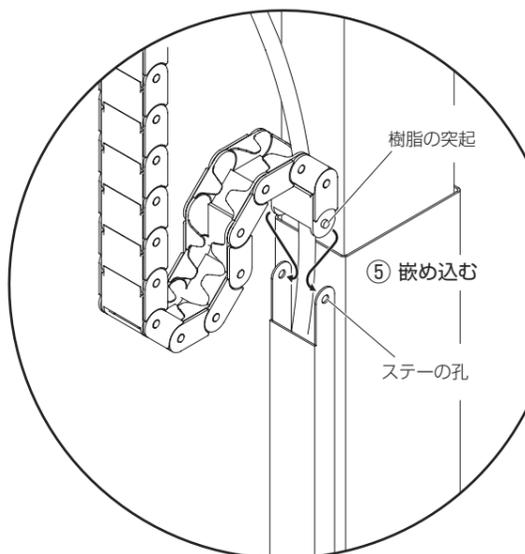
③電源コードを覆うようにして、ステーを脚に取り付けます。ステーはマグネット式です。

ステーは昇降ユニットの外側に合わせて取り付けてください。



④電源コードをケーブルベアに押し込みます。
※配線容量はOAタップコード1本にLANケーブル電話線等1本を目安にしてください。

⑤ステーの孔に樹脂の突起を嵌め込みます。

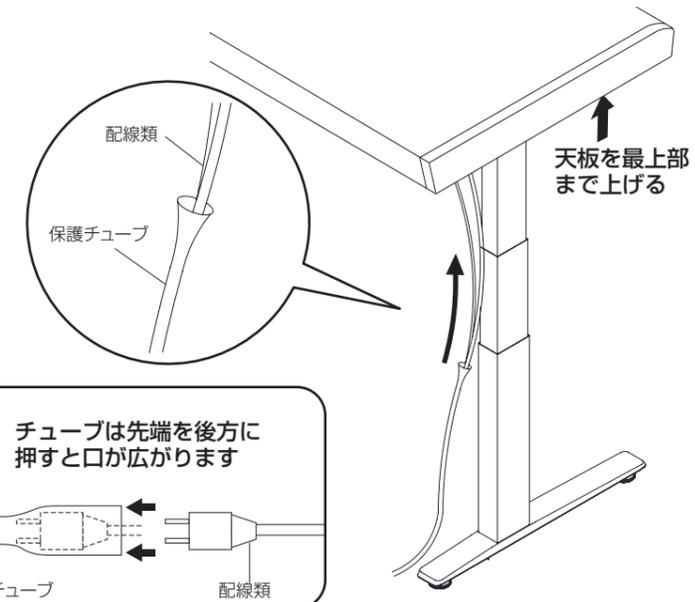


※配線後は、天板を最上段まで昇降させて、ケーブルベアが外れたりしないか確認してください。

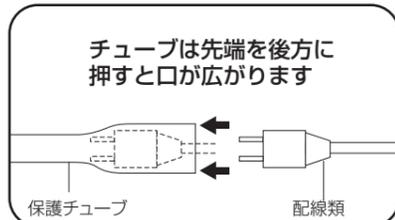
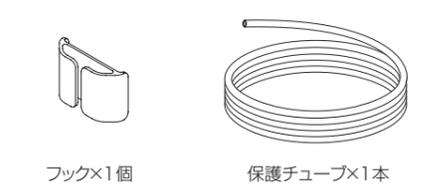
9 ケーブルフック(オプション)の取り付け

注意
ケーブルフックの取付作業は、必ず天板を最上部まで上げてから行ってください。コード類の長さに少したるむ程度の余長がないと、スムーズな上下動が行えません。

①コード保護の為、チューブを使用して配線をまとめます。(天板裏面まで持ち上げます)

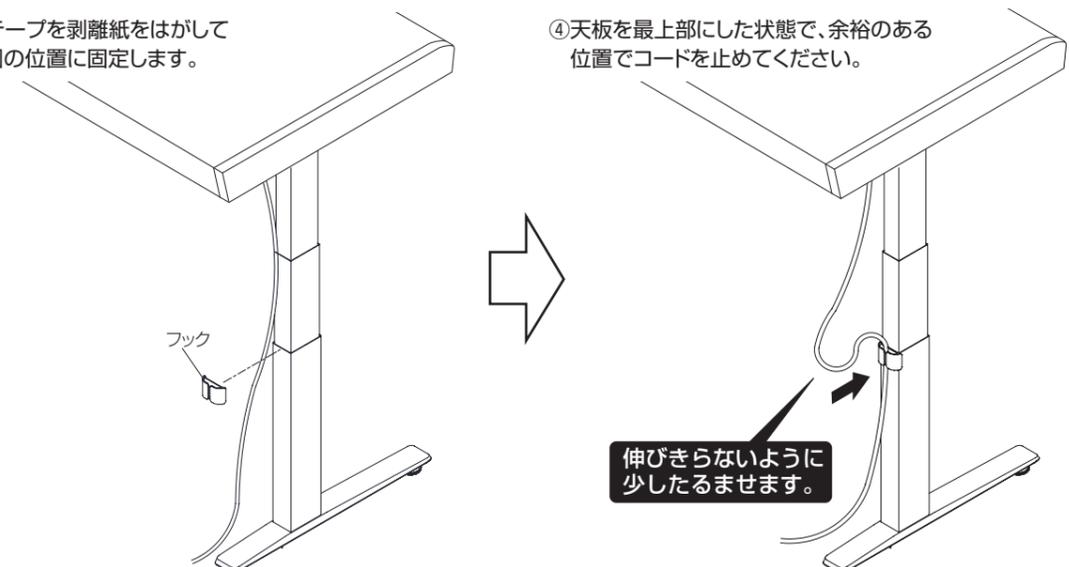


■ケーブルフックセット



③フックの裏面のテープを剥離紙をはがして昇降ユニットの図の位置に固定します。

④天板を最上部にした状態で、余裕のある位置でコードを止めてください。



伸びきらないように少したるませます。

10 PC・カバン収納(オプション)の取付け

①PC・カバン収納の内側上面から平頭小ネジ(M6×12L)にて天板裏面のネジ孔を仮固定してください。

